

第 2 4 6 回幹事会議事要旨

日 時 平成 2 9 年 5 月 2 8 日 (金) 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 向井 千秋、花木 啓祐

(第一部) 三成 美保、小松 久男、藤原 聖子

(第二部) 大政 謙次、石川 冬木、福田 裕穂

(第三部) 相原 博昭、土井 美和子、大野 英男、川合 眞紀

(事務局長) 駒形 健一

(事務局次長) 竹井 嗣人

(課長等) 小林 真一郎、小川 初治、西澤 立志、石井 康彦、鈴木 孝介

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 科学と社会委員会における運営要綱の一部改正（新規設置 1 件）および分科会委員（新規 1 件）を決定した。
 - (2) 分野別委員会における委員会（追加 1 件）及び小委員会委員（新規 1 件・追加 1 件）を決定した。
 - (3) 日本学術会議協力学術研究団体を指定することについて決定した。
 - (4) 平成 29 年度代表派遣について、実施計画に基づく 7-9 月期の会議派遣者を決定することについて承認した。
 - (5) 平成 29 年度代表派遣について、実施計画の一部を変更することについて承認した。
 - (6) 報告「飼育動物の安定的利活用を目指す畜産学の特性とその充実を図る教育・研究課題」について、畜産学分科会佐藤委員長、柏崎委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。
 - (7) 報告「生産農学における学部教育のあり方について」について、農学分科会大杉委員長、奥野委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。
 - (8) 提言「自動運転のあるべき将来に向けて ― 学術界から見た現状理解 ―」について、工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会永井副委員長、須田幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。
 - (9) 報告「生態学の展望」について、生態学分科会吉田副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。
 - (10) 提言「若者支援政策の拡充に向けて」について、社会変動と若者問題分科会本田委員長、遠藤委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、再度の幹事会審議を要することとした。
 - (11) 16 件のシンポジウム等の開催、1 件の国内会議の後援を決定した。
- 3 その他事項として、第 174 回臨時総会、今後の幹事会及び総会の開催日程について確認が行われた。

4 以下の非公開審議が行われた。

- (1) 科学と社会委員会における分科会委員（特任連携会員）（1 分科会）を決定した。
- (2) 分野別委員会における小委員会委員（2 小委員会）を決定した。
- (3) 国際業務に参画するための日本学術会議外国人アドバイザー（1 名）の任命を決定した。